



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL)075(463)8111  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,029	4.4	△0	—	45	—	119	—
2023年3月期第2四半期	2,900	5.7	△95	—	△72	—	△116	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 421百万円(57.8%) 2023年3月期第2四半期 267百万円(146.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	86.47	—
2023年3月期第2四半期	△84.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,365	9,817	79.8
2023年3月期	10,917	9,464	80.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,068百万円 2023年3月期 8,738百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,880	2.4	△81	—	23	—	97	—	71.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)― 、除外 1社(社名)上海富士克貿易有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	1,468,093株	2023年3月期	1,468,093株
2024年3月期2Q	91,445株	2023年3月期	91,425株
2024年3月期2Q	1,376,650株	2023年3月期2Q	1,376,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されて以降は、人流やインバウンド需要の回復により、経済活動全般は回復傾向が続いておりますが、一方で、円安基調を背景とした国内諸物価の上昇により、消費者の生活防衛意識はいつそう高まりつつあり、国際情勢も見通せないなど、先行きは不透明です。

この状況を受けて、当社グループと関連の深い、アパレル・ファッション業界では回復基調にも鈍化傾向が見られ、手芸関連業界も引き続き低調で、先行きが懸念される状況となりましたが、当社グループにおきましては、これらの状況に加えて、昨年の中国・上海地域のロックダウンによる2ヶ月にわたる事業停止後の様々な後遺症により、中国の販売子会社は厳しい状況が続いております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、3,029百万円（前年同期比4.4%増）にとどまりました。

また利益面につきましても、昨秋以降実施した国内販売価格の改正や販売品目構成の変化など、増益要因もありましたが、製造コストの高止まりのなか、国内工場の操業度が伸び悩んだことや中国子会社の回復遅れも響いて、営業損失は0百万円（前年同期は95百万円の損失）、経常利益は45百万円（前年同期は72百万円の損失）となりました。

なお、前年同期には上海地域のロックダウンによる事業停止に伴い、新型コロナウイルス関連損失78百万円を特別損失に計上しましたが、当期には2023年11月10日に開示した「特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、子会社清算益76百万円を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は119百万円（前年同期は116百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 日本

当セグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間は、当社の2023年4月から9月まで、国内子会社の2023年2月から7月までの業績が連結されております。

当四半期は、上述の通り、外国人観光客の増加も含めた人流の回復で経済活動全般の回復傾向が続きましたが、国内の諸物価上昇により、衣料品に対する消費マインドは低下傾向が見られ、その生産はまだら模様で、衣料用縫い糸の受注も鈍化傾向となりました。

また、自動車生産台数の回復傾向が続いたことにより、車両内装用縫い糸の受注は増加しましたが、手芸関連業界では、国内の諸物価上昇による節約意識の高まりもあって、家庭用縫い糸を含む手芸関連商品は全般にわたって消費の低調が続きました。

このような状況のなか、昨秋以降に実施した縫い糸全般の販売価格改正は増収要因となり、当セグメントの売上高は2,454百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

一方利益面は、価格改正や販売品目構成の変化は増益要因になりましたが、製造コストの高止まりのなか、上述の売上高や国内工場の操業度が伸び悩んだこともあって、セグメント利益は32百万円（前年同期は87百万円の損失）となりました。

## アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間は、2023年1月から6月までの業績が連結されております。

当四半期は、上述の通り、日本向け衣料品は、コロナ禍での生産調整の反動や消費の回復に伴い、その生産は全般に増加傾向となりましたが、中国におきましては、昨年の同国のコロナ政策の不透明感から、そのリスクヘッジとして日本向け衣料品の生産が日本またはベトナムを始め近隣アジア諸国などへ移行するなど、コロナ禍の様々な後遺症が今なお続いていることで、当セグメントで販売の中心となっている中国販売子会社の受注の回復が見られませんでした。

これらにより、前年同期には中国子会社4社の2ヶ月にわたる事業停止期間があり、また当四半期は円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、当セグメントの売上高は574百万円（前年同期比0.5%増）にとどまりました。

また利益面につきましても、製造コスト上昇のなか、販売価格への転嫁が困難であったアジア地域の状況に加えて、中国販売子会社の受注回復遅れも響いて、セグメント損失は19百万円（前年同期も19百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて447百万円増加し、11,365百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少105百万円があったものの、投資有価証券の増加335百万円、棚卸資産の増加127百万円、受取手形及び売掛金の増加52百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて93百万円増加し、1,547百万円となりました。主な増減は、その他（固定負債）の増加99百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて353百万円増加し、9,817百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加233百万円、利益剰余金の増加50百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における事業環境の変化を勘案し、2023年8月10日に公表しました2024年3月期の連結業績予想を修正しております。詳しくは2023年11月10日に公表しました、「特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,660,522	2,554,729
受取手形及び売掛金	1,125,222	1,178,098
電子記録債権	229,780	268,702
棚卸資産	2,678,504	2,805,656
その他	59,687	74,162
貸倒引当金	△2,936	△3,101
流動資産合計	6,750,780	6,878,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880,948	1,855,563
その他(純額)	709,814	706,662
有形固定資産合計	2,590,762	2,562,225
無形固定資産		
その他	207,476	219,882
無形固定資産合計	207,476	219,882
投資その他の資産		
投資有価証券	1,094,977	1,430,608
その他	273,775	275,266
貸倒引当金	—	△1,144
投資その他の資産合計	1,368,752	1,704,731
固定資産合計	4,166,992	4,486,840
資産合計	10,917,772	11,365,087
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	436,217	405,550
未払法人税等	16,751	24,493
賞与引当金	43,843	43,608
その他	177,415	198,509
流動負債合計	674,227	672,162
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,073	219,265
退職給付に係る負債	51,076	54,289
資産除去債務	32,788	32,788
その他	469,552	569,031
固定負債合計	779,490	875,374
負債合計	1,453,718	1,547,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,057,393	6,107,602
自己株式	△109,313	△109,342
株主資本合計	7,642,493	7,692,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	412,272	645,402
為替換算調整勘定	698,158	742,466
退職給付に係る調整累計額	△13,982	△12,246
その他の包括利益累計額合計	1,096,448	1,375,622
非支配株主持分	725,112	749,255
純資産合計	9,464,054	9,817,550
負債純資産合計	10,917,772	11,365,087

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,900,065	3,029,080
売上原価	2,229,221	2,232,993
売上総利益	670,844	796,087
販売費及び一般管理費	765,896	797,084
営業損失(△)	△95,051	△996
営業外収益		
受取利息	4,236	4,000
受取配当金	16,144	18,899
賃貸料収入	11,804	12,067
売電収入	6,278	5,878
その他	5,907	13,486
営業外収益合計	44,371	54,332
営業外費用		
賃貸料収入原価	5,190	5,183
為替差損	14,408	—
売電費用	2,600	2,267
その他	73	574
営業外費用合計	22,273	8,026
経常利益又は経常損失(△)	△72,954	45,308
特別利益		
固定資産売却益	549	4,477
子会社清算益	—	76,838
特別利益合計	549	81,316
特別損失		
固定資産売却損	271	—
固定資産除却損	—	828
新型コロナウイルス関連損失	78,969	—
特別損失合計	79,240	828
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△151,645	125,796
法人税、住民税及び事業税	11,569	22,719
法人税等調整額	△11,876	△4,944
法人税等合計	△306	17,775
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△151,338	108,020
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,826	△11,020
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,512	119,041



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△151,338	108,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,036	233,129
為替換算調整勘定	402,827	78,768
退職給付に係る調整額	4,694	1,736
その他の包括利益合計	418,559	313,635
四半期包括利益	267,220	421,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,914	398,215
非支配株主に係る四半期包括利益	58,306	23,440

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった上海富士克貿易有限公司は清算手続きが終了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,328,723	571,342	2,900,065	—	2,900,065
外部顧客への売上高	2,328,723	571,342	2,900,065	—	2,900,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125,506	191,590	317,097	△317,097	—
計	2,454,229	762,933	3,217,163	△317,097	2,900,065
セグメント損失(△)	△87,394	△19,231	△106,626	11,574	△95,051

(注) 1. セグメント損失の調整額11,574千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,454,662	574,417	3,029,080	—	3,029,080
外部顧客への売上高	2,454,662	574,417	3,029,080	—	3,029,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161,572	412,838	574,410	△574,410	—
計	2,616,234	987,255	3,603,490	△574,410	3,029,080
セグメント利益又は損失(△)	32,806	△19,469	13,336	△14,333	△996

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△14,333千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。